
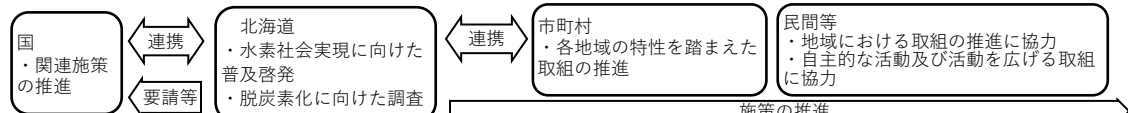


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	環境生活部	所管課	気候変動対策課	
施策名	地域資源を活用したエネルギーの導入促進			施策コード	03032	
政策体系(中項目)	新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進			政策体系コード	2(4)B	
知事公約	C0107	総合戦略	A3473、A3481、A3482	国土強靱化	B4111	事務事業数 5
SDGs				総合判定	概ね順調	

### 【1 Plan】

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>水素サプライチェーンの構築や水素利用機器の普及等の取組を通じて水素社会の実現を目指す。</li> <li>道民のライフスタイルの見直しや再エネ導入の取組促進に必要な調査等の取組を通じて道内の脱炭素化を推進する。</li> </ul>					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国トップクラスの再生可能エネルギー賦存量を有しているものの、系統連携の課題等によりポテンシャルを十分に活用できていない。</li> <li>本道は道民一人あたりの温室効果ガス排出量が全国平均より高く、そのうち民生(家庭)部門と運輸部門の割合が高い。</li> </ul>					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>FCV等の普及促進</li> <li>水素エネルギーの利用に係る支援の充実について、国に提案・要望を実施</li> <li>産学官で構成する「北海道バイオマスネットワーク会議」を通じた情報共有の促進やセミナー開催による普及啓発の実施</li> </ul>					
予算額(千円)	R3	49,941	R2	326,960	R1	803,218
施策のイメージ						施策目標

### ＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	万kw	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R12)	達成率	指標判定
新エネルギー導入目標 【発電分野】設備容量	目標値		232.1	248.8	265.4	764	137.6%	A
	実績値		292.7	320	365.1	-		
設定理由	北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】に基づき、道内における新エネルギーの導入実績を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
エネルギーの安定供給を確保するとともに、中長期的に、社会経済の変化に柔軟に対応するエネルギーの多様化を図ることが重要。このため、新エネルギーが主要なエネルギー源の一つとなるよう、新エネルギーの導入拡大などを図る。								

指標名②	増加	百万kw	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R12)	達成率	指標判定
新エネルギー導入目標 【発電分野】発電電力量	目標値		7,272	7,553	7,834	20,122	112.1%	A
	実績値		7,921	8,611	8,786	-		
設定理由	北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】に基づき、道内における新エネルギーの導入実績を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
エネルギーの安定供給を確保するとともに、中長期的に、社会経済の変化に柔軟に対応するエネルギーの多様化を図ることが重要。このため、新エネルギーが主要なエネルギー源の一つとなるよう、新エネルギーの導入拡大などを図る。								

指標名③	増加	TJ	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R12)	達成率	指標判定
新エネルギー導入目標 【熱利用分野】熱量	目標値		17,180	18,164	19,149	20,960	76.1%	D
	実績値		14,932	14,713	14,578	-		
設定理由	北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】に基づき、道内における新エネルギーの導入実績を測る指標として設定。							
分析(主な取組と成果)								
エネルギーの安定供給を確保するとともに、中長期的に、社会経済の変化に柔軟に対応するエネルギーの多様化を図ることが重要。このため、新エネルギーが主要なエネルギー源の一つとなるよう、新エネルギーの導入拡大などを図る。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	地域資源を活用したエネルギーの導入促進	施策コード	03032
---------------	-----	---------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	R元年度	R2年度	R3年度	R3目標値	指標判定
成果指標	新エネルギー導入目標【発電分野】設備容量	293	320	365	265	A
	新エネルギー導入目標【発電分野】発電電力量	7,921	8,611	8,786	7,834	A
	新エネルギー導入目標【熱利用分野】熱量	14,932	14,713	14,578	19,149	D
目標(指標)の達成状況	再生可能エネルギーの導入は進んでいるが、水素サプライチェーンの構築や水素利用機器の普及に向け、より一層取組を強化していく必要がある。				指標総合判定	B
連携状況	水素社会の実現に向けて、気運醸成・理解促進を図るため、FCVの普及啓発や「水素イノベーション推進協議会」などによる情報共有、意見交換を実施。産学官で構成する「北海道バイオマスネットワーク会議」と連携し、バイオマスの効率的な利活用システムの検討、会議やフォーラムでの情報共有の促進等を通じた普及啓発を実施。				連携判定	○
緊急性優先性	地域の脱炭素化を目指す水素サプライチェーン構築に向けた実証フィールドとして本道を活用することなどを国に対して要望しており、地域の実情に合わせた実証や支援を推進する。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	協議会等を通じて情報共有は促進されているものの、水素社会の実現及び脱炭素化に向けて、各地域の特性に踏まえた取組の推進や水素利用機器の普及等による、さらなる施策の推進が必要。				総合判定(一次評価)	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	水素社会の実現に向けて、引き続きFCVの普及啓発、「水素イノベーション推進協議会」での水素利活用の検討、情報共有や意見交換を実施する。
	②	循環型社会の形成に向けて、引き続き「北海道バイオマスネットワーク会議」と連携し、バイオマス利活用の検討や普及啓発の取組を進め、バイオマス利活用の推進を目指す。
	③	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況 (R3.3時点)
R3年度二次政策評価	

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>水素社会の実現に向けて、水素利活用の普及促進、「水素イノベーション推進協議会」での水素利活用の検討、情報共有や意見交換を実施する。</li> <li>循環型社会の形成に向けて、引き続き「北海道バイオマスネットワーク会議」と連携し、バイオマス利活用の検討や普及啓発の取組を進め、バイオマス利活用の推進を目指す。また、令和4年度が計画期間の終期となる「北海道バイオマス活用推進計画」の事後評価を行う。</li> </ul>